

ありて

わたしの未来はわたしが創る

2022.3
21号

特集

人生100年時代に向けて……………p2

～ 長寿化が進む今、その生き方を考える ～

■高岡市の男女平等・共同参画推進の取り組み ほか……………p6

■セピア色の写真から／神保 康子さん……………p7

■センター活動登録団体紹介 ほか……………p8



「ありて」は自分の力で問題を解決していくイギリスの童話「アリーテ姫の冒険」の主人公の名前です。



人生100年時代に向けて

～長寿化が進む今、その生き方を考える～

「人生100年時代」という言葉を耳にしたり、目にしたりすることが増えました。この長寿の恩恵を受け、前向きに楽しく生きるにはどうすればよいのか考えてみたいと思います。今回、年齢を重ねてもなお、いきいきと輝き続けている方々にお話を伺い、人生100年時代に大切なものは何かをお聞きしました。また、「人生はマラソン」と例えられることがありますが、フルマラソンに挑む女性たちにもお話を伺いました。

人生100年時代の

ボランティア活動

地域のボランティア活動で活躍されている横越啓子さんにお話を伺いました。



「千保川をきれいにする会」会長
「木津ふれあい食堂」代表

横越 啓子さん

ボランティアは、仕方なくするものではありません。仲間と一緒にみんなでするから楽しいのです。

大清掃は1年に1回ですが、その他に年6回、50〜60人で清掃します。参加を呼びかければ皆さん来てくださって、楽しく活動しています。今でこそ順調に活動していますが、この会にも解散の危機がありました。設立からのお二人の会長さんは大変立派な方でしたが、高齢化などにより参加者が減り、清掃も思うようにならない状態の時がありました。その時、会長さんが副会長をしてい

■千保川をきれいに
する会について
今年(令和3年)も、夏の日曜日に、千保川の河岸の桜並木、木津橋から一文橋までの1.8キロを120人余りで大清掃をしました。この時だけは、夏休み中の小学校の子どもたちと保護者、校長先生はじめ先生方と一緒にします。

た私に、ぜひ次の会長をやってほしいと言われたのです。私が会長でいいのだろうかと思いましたが、なんとかこの活動を続けたい、そして会長さんたちの期待に応えたいと、校下の自治会長さん13人のお宅を回り、会の現状をお話し、協力をお願いしたので。そうしたら、すべての自治会長さんが協力を約束してくださったのです。

■そんな積極的な行動はどうしてできるのですか？

会長は、縁の下の力持ちになって、皆と一緒に働かなければなりません。そうやって、本当に自分を理解してくれる仲間をつくる必要があると思います。そんな信頼関係がある人々がいるからこそ、行動できるのです。

■木津ふれあい食堂について

最初、公民館でするということですが、許可を取るのに苦労しましたが、今年(令和3年)で4年になりました。



富山県や高岡市を通じていただいた食材などの寄付や、木津校下の社会福祉協議会、婦人会、地域の有志の方の寄付もあり、運営させていただいております。

子どもたちは無料、大人は300円で食事を提供しています。ふれあい食堂なので、昼間一人のお子さんや一人

暮らしのお年寄りに参加の声をかけ、みんなで一緒に食べます。できれば、各地域(校下)にひとつづつくらい、こういう場所があればいいですね。

■いつも笑顔でいられるのはなぜですか？

地域がきれいになった喜び、子どもたちに食べてもらった喜び、これらの喜びは仲間の協力があつてこそ得られるものです。そして、私はそれを地域のみんなが協力してやっていくのが一番だと思っています。何においても、仲間がいるからこそできることで、みんなでやるから楽しいのです。

■次にやりたいことはなんですか？そして人生100年時代に大切なものは何でしょうか？

次にやりたいこと、何もないですよ。もう、80歳ですから。今までのいろんな活動の中でできた、たくさんのお友達とお茶でも飲みながら、ゆっくりお話がしたいですね。

大切なことは、誰とでも仲良くすることですよ。それから、私が調理師の資格を持っていたことや、保育園の給食の仕事の経験があったことが、ふれあい食堂を運営するのに役立ちましたね。保育園に感謝ですね。

もし、100歳まで命がいただけるのであれば、地域や高岡市の発展を静かに見守りたいですね。

生涯学習「高岡市寿大学」

高岡市寿大学は、生涯学習の一つとして行われている高齢者教室です。運営委員長の西さんと事務局の中井さんにお話を伺いました。

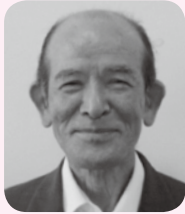
■寿大学の概要

毎月1回、原則第3金曜日の午後1時半から3時まで、歴史、経済、健康、福祉、防災などのジャンルから講師の方をお招きし、ウイング・ウイング高岡4階ホールで(令和3年度から)講座(主に講演会)を開催しています。

時には、落語家をお招きしたり、演奏家をお呼びしてコンサート形式にすることもあり

対象は高岡市に住む60歳以上の方で、受講費は年間3000円、毎年4月に開講し、会費を添えて申し込みいただけます。

12回の講座の中には、現地学習が2回ありますが、それ以外の講座を年間7割出席されると、3月に修了証をお渡ししております。



高岡市寿大学 運営委員長

西 廣志さん

気持ちも表情も10歳若く見えるほど、みんな生き生きしておられますよ。

(プロフィール)
高岡市老人クラブ連合会 副会長
富山県相撲協会 参与
高岡地域広域圏 ふるさと名人
日本将棋連盟富山県支部連合会 事務局長



平成31年4月の講演風景
「いのちより大切なもの」
講師：浄教寺住職 高瀬顕正氏



高岡市寿大学 事務局

中井 由美子さん

《受講アンケートより》
・たくさんのお付きをありがとうございました。心が清らかになりました。
・解り易くとても参考になりました。
・元気で寿大学に来られるのも、健康だからできることですね。

また、年間の修了証が10枚、つまり10年続くと精勤表彰となり、中には30年続けている方もおられます。

■受講者と運営委員について

真摯に学ぶ受講者の平均年齢は80歳。90歳を過ぎた方もおられます。講演の前後に集まってお話をするのが楽しみで、知らない人同士でも声を掛け合い仲良くなっておられます。この場所に来て、学び続けるということが生活の励みになると思います。

運営委員は委員長を含め10人、受講者の中からお願いし、会場の準備から受付、後片付けまでお手伝いしていただいております。皆さん、他にも老人クラブや社会福祉協議会の世話をされており、的確に行動される責任感の強い方ばかりです。

※寿大学に関することは、高岡市寿大学運営委員会事務局までお問い合わせください。(☎0766-20-1456)

生涯スポーツ



ビーチボールチーム「太田はまなす」は、翡翠カップとジャパンカップの60歳以上の全国大会で優勝するなど輝かしい成績を収めておられます。

メンバーの山田さん、田中さん、松山さんにお話を伺いました。

ビーチボールは、スポーツに自信のない方や高齢者に勤めるスポーツとして富山県朝日町で誕生しました。生涯スポーツとして、今や全国大会が開かれるほど、広く普及しています。

■新型コロナウイルス感染症の影響

令和3年度は人数を減らしたため、受け付け3日で定員に達してしまい、長く続けてこられた方も断らざるを得ない状況でした。コロナ禍となって定員を200名に限定せざるを得なくなりました。

なりましたが、多い時は会員が350名程だったこともありです。

新型コロナウイルス感染症が落ち着けば、会場の利用制限が解除され、定員を増やせるので、1日でも早く収束に向かうことを願っています。

松山 ケガをしないよう週2、3回練習して体を作っている。みんなビーチボールが大好きだから、ケガをしても治る前から練習を再開してしまおう。



■ビーチボールは、生活の中でのどのような意義がありますか？

田中 優勝できるのは、頭を使つて戦術を立てながら試合しているからだ。それがボケ防止にもなる。チームワークも良い。相手の悪い所ではなく、良い所を見る。自己中心にならず、みんなのことを考えている。

山田 会社の退職日とビーチの全国大会の試合日が重なってしまったが、ビーチの試合に出ることを選んだ。

田中 若者にもビーチボールを教えている。若者と情報交換したり、交流をすると頭も若くなる気がする。

山田 健康にも良い。体が動く間は、ずっとビーチボールを続けたい。

■ケガをされることは、ないですか？

田中 ケガはしている。試合中にアキレス腱を切ったことがある。



■いつ頃からされていますか？

山田 34歳の頃から約38年間している。

田中 その間ずっと同じメンバで活動している。

健康・活力

フルマソン(42.195キロ)に挑む、女性たち!

最近のマラソンブームで、女性ランナーの姿をよく見かけます。フルマソンに挑むランナーは、普段走らない人たちにとっては、考えられないような距離を走り抜いています。



そんな3人のランナー、篠井さん、沖さん、尾山さんにマラソンと人生についてのお話を伺いました。

令和3年7月にウイング・ウイング高岡6階、高岡市男女平等推進センター交流室にお集まりいただきました。

■ランニングを始めたきっかけは?
篠井 体力維持と美容というかダイエットのためですね。38歳から始めて、10年ほど続けています。

沖 双子の子どもたちが2歳の頃、仕事と育児の両立で自分の時間がなかなか持てなくて悶々としていました。ある日、夫に子どもたちを見てもらって近所を走ってみたところ、とてもすっきりして、これはいいな!と思いました。

同じ時期、誘われてランニングサークルに行ってみたところ、そこはフルマソンを走る人ばかりで、大変な所に来てしまったと思いました。その時は、自分がフルマソンに出られるなんて夢にも思いませんでした。

15年ほど続けています。

尾山 3年前、夫が富山マラソンに出てみようか、と言ったので一緒に出ようと練習を始めたのがきっかけです。

■日常的にどのくらい走っていますか? また、食事で気をつけていることは?

篠井 仕事も家事もありますから、あまり時間が取れないのですが、週3〜4回ほど、朝走ります。平日は近所を走るくらいですが、週末は10〜20キロほど走ります。

走ることによって罪悪感なく食べられるので、走った後のご褒美が楽しみですね。

沖 子どもたちが大きくなつてくるとお弁当作りや送迎などがあり、平日は時間が取れないので、土日にとめて走ることが多いです。

食事については、栄養バランスを考慮して摂るように心掛けています。



篠井 悦子さん
 40歳代 看護師
 フルマソン歴 16回
 他に70キロ、100キロ各1回
 70歳代で走り続けておられる方たちは、あこがれですね。



沖 容子さん
 40歳代 保健師
 フルマソン歴 15回
 ランニングによって、人生が豊かになりましたね。

尾山 以前からテニスをしているので、できるだけ毎日、どちらかをしています。ランニングは週2〜3回でしようか。以前は、月200キロを目指していたのですが、夏の暑い時は、できる範囲で走っています。

食事は、私も野菜をたくさん摂ることくらいですね。

■参加したマラソン大会について

篠井 3年前のことなので、もう走れないと思うのですが、白山白川郷ウルトラマラソンで、白川郷から松任まで(100キロ)走りました。

尾山 すごいですね!

篠井 今年(令和3年)春のとやま清流マラソンは、規模を縮小して北陸県民限定で開催されました。

久しぶりの大会参加でした。

尾山 えっ、清流マラソンは私も出ていました。大変でしたね。

篠井 はい、ひどい暴風雨でした。

尾山 向かい風が強くて、本当に途中でやめようかと思いました。

私は4時間半を超えました。

■それでも走り続けたのはなぜ?

篠井 走った後のご褒美が楽しみだから、目の前の人参を追いかけて。一同(笑い)

■走ることが人生に与えた影響は?

篠井 自分に対する自信ですね。記録よりも走りきれたという達成感です。子どもの頃は、走るが遅くていやな思い出ばかりなのですが、そんな自分がこまでできたと思うと、とてもうれしい。

沖 人生が豊かになりましたね。

サークルの先輩方と走りながらの会話の中で、人生相談に乗ってもらったり、アドバイスをしてもらったりします。そんな会話から、前向きな気持ちになることや、今まで興味がなかったことにも関心を持つようになりました。

尾山 楽しみが増えましたね。車では通り過ぎてしまうようなお店を見つけたら、仲間といっしょにランニングでそんなお店に行ったりします。それに一人でもできますし、自分なりに目標を持って、それが達成できるとうれしいですね。

また、走ることでテニスをやる際の体力が付き、自信を持ってプレーできるようにになりました。



尾山 明子さん
 40歳代 自営業
 フルマソン歴 2回
 2018年の富山マラソンが初フルマラソンで、その時はぎりぎり5時間を切りました。

■人生一〇〇年時代に大切なものは？
筏井 (ランニング) サークルで、70歳代で走り続けておられる方たちはあこがれですね。

その方たちは若々しくて、人生に対しても前向きです。そんなふう健康で楽しく走り続けることができた方がいいですね。

沖 生きがいをもっていること、また同じく健康を維持して走り続けたいですね。

尾山 やはり元気であることですね。

そしてその後、令和3年11月7日、新型コロナウイルス感染症の影響で2年ぶりの開催となった「富山マラソン」を走り終えての感想を寄せていただきました。

尾山 無事開催され、完走できたこと、ご協力、応援してくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

沖 以前横殴りの雨の時もあったのですが、今年は最高の天気でした。

たくさんの方々のご尽力のもと開催され、完走できたことは感謝しかありません。帆を広げた海王丸をこの目に焼き付けておきました。

筏井 ずっとケガ続きでしたが、完走することができて、ホッとしています。たくさんの方々に支えられて開催されたことを実感し、ゴールしたときは、いろいろな思いが湧き上がり涙が溢れてきました。

ありがとうございました。

人生一〇〇年時代に向けて

最後に編集員から…



フルマラソンに挑む女性たち

ここで紹介した皆さんは、まだ「人生一〇〇年時代」の折り返し地点にも至っていないのですが、大切にしていただのは、「気力・体力」、「仲間」さらに「生きがい」でした。

そして迎えた「富山マラソン」では、3人とも4時間台前半のすばらしいタイムで完走されました。

私は今年で75歳になりましたが、「運動は脳にいい！」という言葉を通じて、39年間ランニングを続け、フルマラソンは14回完走しています。(斎藤編集員)

人や社会とつながり、生きがいをもって、笑顔で生きる

「最も長生きした人間とは、最も年を経た人間のことはない。最も人生を楽しんだ人間のことである。」これはフランスの思想家ルソーの名言です。

年齢を重ねてもずっと活躍されている方々へのインタビューを通して気付いたことがあります。皆さんに共通していたのが、充実した笑顔です。

年齢を感じさせないその笑顔から

は、生きがいを持って毎日を楽しく生き生きと過ごしておられるのが想像できます。少しの迷いもない、まったく視線の奥を覗かせていただきました。(二上編集員)

民生委員・児童委員を務めた経験から、支援活動について考えました

10数年前のことですが、ひとり暮らしの高齢者が、地元の民生委員と隣家の協力によって、命を救われた話を一つ紹介します。

ある日、いつも早起きのお婆ちゃんが、今朝は玄関の鍵がかかったままでした。何か胸騒ぎがした隣家の方は、地元の民生委員に連絡しました。

その民生委員さんは、すぐにお婆ちゃんの親族に連絡し、ガラス窓を割って家に入ることにしたのです。

そこで、居間で倒れているお婆ちゃんを発見し、救急車を呼ぶとともに救護活動をしました。10分ほどして救急車が来てくれて事なきを得ましたが、もう少し発見が遅かったら危なかつたとのことでした。

その後、お婆ちゃんは体調を回復し、日々健康に気を付けて96歳の生涯を全うされました。

このお婆ちゃん私の知り合いで、私は、この話を聞いて初めて民生委員の存在の大切さを知り、その後、自分の地元で民生委員・児童委員を9年間務めました。

今回、私たちは、「人生一〇〇年時代に向けて」と題して、どうしたら充実した人生を送ることができるのか、いろいろな分野の特に元気な方々にお話を伺い、ヒントとなる言葉を探してきました。

でも、すべての人が健康で元気に生きることが出来るわけではありません。ともすれば、病気、加齢、その他の理由で思うような生活ができなくなってしまうことがあります。

そしてそれは、自分を含め誰の身にも降りかかることであり、「人生一〇〇年時代」は、そういった状況となることを含めて考えなければいけないのです。

もしそうなった場合でも、いろいろな支援を受けることによって、充実した人生を送ることができると思っています。

そして今、特に高齢者に対する様々な支援が必要ではないかと考えます。

そのためには、民生委員・児童委員、社会福祉協議会などの活動に加えて、地域の人たちの交流の輪、そして助け合いの精神がより重要になると感じます。(井波編集員)

高岡市の男女平等・共同参画推進の取り組み

男女平等・共同参画に関する2つの計画を策定しました。

◆高岡市男女平等推進プラン(第2次)後期事業計画 基本目標 2022年度～2026年度

- I あらゆる分野において、
男女が平等に参画できる環境づくり
- II 仕事と生活の調和が保たれ、
男女がともに活躍できる環境づくり
- III 個人が尊重され、
能力が発揮できる環境づくり
- IV 計画の総合的な推進

◆高岡市DV対策基本計画(第3次) 基本目標 2022年度～2026年度

- I 暴力を生み出さない意識づくりの推進
- II 身近で安心して相談できる体制の充実
- III 被害者の自立を支援する体制の強化
- IV 暴力を許さない高岡ネットワーク

*計画は、男女平等・共同参画課のホームページで公開しています。

男女平等EXPO高岡 2021

と き：令和3年10月29日(金)・30日(土)
ところ：ウイング・ウイング高岡1F/5F

高岡市における男女平等・共同参画社会の実現に向け、各種団体や市民の代表で構成する実行委員会
が主体となり、市民と共に課題や解決策などについて考える場として毎年開催しています。

本年度は、ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定証授与式と講演会を行いました。

ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定証授与式

高岡市では、市民、地域、事業者が協力し合い、事業所の規模や業種に関わらず、全ての人々が仕事と生活の調和の取れた、いきいきと暮らすことができる社会を目指し、仕事と生活の両立に配慮した働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいる事業所をワーク・ライフ・バランス推進事業所として認定しています。



ワーク・ライフ・バランス推進事業所は、これまでに70事業所が認定されており(令和3年12月末日現在)、
取り組み内容等は、高岡市のホームページでご覧いただけます。

講演会



演題 「個人も企業も成長を実感できる 女性活躍推進成功のカギ」

講師 株式会社クオリア 代表取締役 荒金 雅子 氏
ダイバーシティコンサルタント
CPF (IAF認定プロフェッショナルファシリテーター)

世界における日本の「ジェンダー平等」の現状と課題、また、女性活躍推進のためのポイントについてお話していただきました。

情報ライブラリー

「やえもん文庫」主宰
神保康子さん

おすすめの
本



今回は「セピア色の写真から」で紹介した神保康子さんに「心があたたかくなる本」を選んでいただきました。お子さんやお孫さんといっしょに読んでみてはいかがでしょうか。

「さくら らら」

升井 純子 / 文
小寺 卓夫 / 写真
アリス館

わたしがさく日はわたしがきめる —
作者ふたりのメッセージが素敵です。

「としょかんライオン」

ミシェル・ヌードセン / 作
ケビン・ホークス / 絵
福本友美子 / 訳
岩崎書店

図書館に訪れるライオンの表情がとても可愛く、優しく、心に響く一冊です。

「わたしとなかよし」

ナンシー・カールソン / 作
なががわちひろ / 訳
瑞雲舎

ひとり暮らしになって出会った絵本です。ひとりだって平気！元気を与えてくれる本です。

セピア色の写真から

「やえもん文庫」主宰

「おはなし会」や「絵本の読み聞かせ」で本を通して子どもたちを育む

神保 康子 さん
(一九四二年)



1981年(昭和56年) 3列目右端が神保さん

現在、生まれ故郷の北海道にお住まいの神保さん。高岡で出会った方々に、転居してからも穏やかに過ごしていることを伝えたい、という思いを綴っていただきました。

「やえもん文庫」

一九七九～二〇一五年まで、自宅を開放され、子ども向けの読み物や絵本など約6,500冊を取り揃え、大勢の子どもたちと交流された。

「育む」という言葉が好きです。

種をまいて水をやり、栄養を与え、陽の光をあび、花を咲かせる。

心を育てるのも同じだと思えます。心に種をまいてから、たくさんの人と出会い、貴重な経験を積み重ねながら、成長していく……

私は心に種をまくひとりになりたい。

「生い立ち」結婚〜高岡へ

一九四二年に北海道で生まれ、高校を卒業後、東京で学び、就職・結婚。

子育て中に夫の故郷高岡へ転居、祖母と母に加わり6人家族になりました。

言葉や習慣の違い等はありませんでしたが、子どもの頃から持っていた「いいひとに出会える運」にも助けられ、高岡での生活は、たくさんの懐かしい思い出がつまっています。

我が子の成長と共に手元が増えてきた絵本で、地域の子どもたちと楽しんでいたらとの想いで、長年の夢だった「文庫」を開くことができました。

「やえもん文庫」について

「やえもん」という名は、息子たちが大好きだった「きかんしゃ やえもん」の本から選びました。

その時は気付かなかったのですが、歳を重ねて気が付くと、私の人生は「きかんしゃ



やえもん」と重なり、「古ぼけたって役目はあるんだよ」と、やえもんがささ

やいてくれているような気がします。

幼い頃出会った子どもたちが、大学進学、就職、結婚などで高岡を離れる節目の時、見違えるほど成長した姿を見せに来てくれます。

その時に、その子が好きだった本を差し出した時、長年続けてきたからこそ味わえる幸せを感じます。

「おはなし会」について

「おはなし会」及び「絵本の読み聞かせ」を企画された小学校は、私が転居するまで、13年間続いた小学校と8年間続いた小学校がありました。

楽しみに待っていてくれる子どもたちに出会える喜び、物語の世界を届けられることができる幸せ、校長先生はじめ先生方のご協力のお陰で、続けてこれたと感謝しております。

1年生で出会い、4年生で再会した男の子、「先生のこと、ずっと待ってました」と駆け寄ってくれた時のあの子の笑顔はいつまでも忘れられません。

市内の子育て広場の数カ所にも伺っておりましたので、赤ちゃん時代、幼稚園・保育園、小学校6年間と子どもたちの成長を間近で見守り続けられたことが私の最大の喜びです。

「現在の北海道での生活について」

転居を機に、待望の絵本の部屋が完成しました。

こちらに来てから、絵本セラピスト協会の講座を受講する機会を得て、更

に絵本の世界が広がり、その方々との交流を楽しんでいます。

歳を重ねて故郷へ戻り、同級生と昔話をしながら、

石井桃子さんのメッセージに込められた言葉をかみしめています。

やえもん文庫は、子どもたちにとっては「おばあちゃんの家」、大人の方にとっては「もう一つのお里(実家)」。

北海道↓東京↓富山↓北海道と、居を移してもこの想いは変わらず、ひなたぼっこをしながら「あなた」を待っている今日この頃です。

子どもたちよ
子ども時代をしっかりと
たのしんでください。
おとなになってから
老人になってから
あなたを支えてくれるのは
子ども時代の「あなた」です。

石井桃子
2001年7月18日



旭川にて

【出典】

文・阿川弘之 絵・岡部冬彦

岩波書店

「きかんしゃ やえもん」

著者・中川李枝子 他

新潮社

「石井桃子のことば」

石井桃子(一九〇七〜二〇〇八年)
児童文学作家・翻訳家



高岡市男女平等推進センター 活動登録団体紹介

タカポケ

高岡がみんなの「やってみたい！」が叶う街になったら、もっともっと楽しい街になると思いませんか？私たちは人のチカラで高岡を夢いっぱい
の街にする活動をしています！

私たちが使うのは誰もが持っている「アイデア」というアイテム。2か月に一度、何かやってみ
たいことのある熱意ある方をお招きしてお話を聞き、その熱意にみんなのアイデアをプラスす
る、そんな定例会を開催しています。

どなたでも参加可能です！高岡を元気な街にしたい皆さんのお越しをお待ちしております。

(タカポケ 元道 彩)

ホームページ / <https://takapoke.com>

活動登録団体って何？

男女平等推進センターでは、男女平等・共同参画の推進に関する活動をしている団体・グループを活動登録団体として登録しています。(令和3年12月現在 37団体登録)

活動登録団体は、男女平等推進センターの交流スペースや活動用ロッカーを無料で利用できるほか、センターからの情報も得やすくなります。

また、Eネット(高岡市男女平等推進センター登録活動団体ネットワーク)が毎年開催する「Eフェスタ」で、各団体がワークショップや展示を通じて、活動をアピールしています。

あなたの団体・グループも男女平等推進センターに登録しませんか？

男女平等推進センターを拠点施設として、男女平等・共同参画を推進する市民団体・グループの活動を支援します。

センターのホームページで、登録方法や現在の登録団体・グループを紹介しています。

編集員 ひとこと メッセージ

●井波 清三

コロナ禍により家庭や職場などに閉塞感が漂い続けていますが、早く明るい兆しが見えて来るよう、心から願っています。

「ありて」の編集員に加わった4年間、関わった多くの人達に感謝しています。ありがとうございました。

●斎藤 博之

「セピア・・・」で紹介した神保さんは、他にいくつものエピソードを書かれており、私はそれらを読んで涙してしまいました。

長寿化とともにIT化も進み、AIがいかに人の能力を超えようとも、人を「育む」ことができるのは、人だけではないでしょうか。

●二上 紀代美

年齢を重ねることは怖くありません。

人生を刻んだしわが増えることにも抵抗ありません。

今が一番楽しいと思える、そんな人生を送りたいです。

市民編集員の皆さん
2年間(4年間)
ありがとうございました。
次号より
また新たなメンバーで
お届けします。



高岡市男女平等推進プラン情報誌「ありて」は、男女平等・共同参画の推進を目的に、公募による市民編集員が企画・編集しています。

ありて キャラクターデザイン：山崎 可菜さん

「ありて」の感想をお寄せください



- ◆ QRコードから
- ◆ E-mail / gec@city.takaoka.lg.jp
- ◆ FAX / 0766-20-1815

いずれかの方法でお願いします。

※「ありて」のバックナンバーは、ホームページでご覧いただけます。

発行 / 高岡市男女平等推進センター

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7
(ウイング・ウイング高岡6階)
電話 / 0766-20-1810 FAX / 0766-20-1815
E-mail / gec@city.takaoka.lg.jp
ホームページ /
<http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html>